

ラ・ポートフィーナ高槻

名前の由来

ポートフィーノは、風光明媚なイタリア・リヴィエラでも有数の高級リゾート地。在宅復帰に向けたサポートを行う当施設は、アンドレア・ボッcheriが歌う「Love in Portofino」の曲調の柔らかい陽ざし穏やかなイメージとともに、ゲスト様の長きにわたる「人生の最終章」のひとコマの“寄港地”としてご利用いただきたい、という想いで命名されました。

建物概要

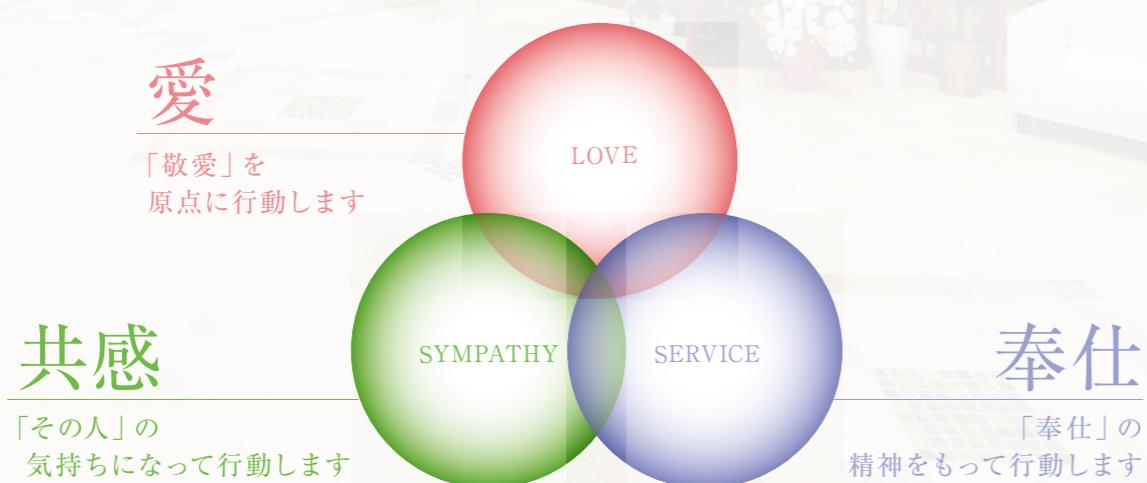
介護老人保健施設：80床
通所リハビリテーション：40人／日
訪問リハビリテーション
ケアプランセンター

4人部屋	16室	37.77m ²
2人部屋	4室	21.71m ²
個室	8室	約11.21m ²

敷地面積：2488.23m² 建築面積：1203.76m²
延床面積：3274.79m² S造3階建

法人理念

医療法人として、健やかな老い（サクセスフル・エイジング*）を総合力で支えます。
※年齢とともに老いていくことを認識しつつ、社会に適応して豊かな老後を迎えていくこと。



在宅生活支援施設としての役割を。

介護事業10年の実績を活かし、安心して在宅生活が継続できるよう介護予防のためにリハビリ環境の充実をはかりました。



◆ 居住空間

居室80床。そのうち64床が「4人部屋」につき、利用料は月額8~9万円とリーズナブル。家具やカーテンの仕切りでプライバシーを守れます。

▼ アクアリハビリ（温水プール）

1日40名様まで受け入れ可能なデイケアには、当グループでは3つ目となる「温水プール」を導入。健康運動指導士やメディカルトレーナーの指導によるアクアリハビリで、機能回復や状態維持が期待できます。



▼ ダイニング・リビングルーム

やわらかな陽ざしの明るいリビングルームでは普段の何気ないおしゃべりや楽しいお食事、趣味などの時間を過ごしていただきます。またリビングルームでは地域交流行事などで社会との接点をつなぎます。



▼ パワーリハビリテーション

動作性と体力の向上を目的とし、介護予防、自立回復、介護軽減をめざす新しい運動プログラムです。トレーニングマシンを動かすことで眠っている筋肉と神経を目覚まし、日常生活での元気を取り戻していただき、自立支援を指導することが目的です。



▼ 居住空間リハビリテーション

当施設内に完備した「和室」を、自宅の生活空間に見立てて行う体験型リハビリ。在宅復帰、自立支援を実現させるため、理学療法士の指導による新しいカタチのリハビリです。



▼ 介護状況に合わせた機械浴槽、車椅子の方も入浴可能な特殊浴槽

座ったまま入浴できる特殊浴槽を完備。ゲスト様のご負担なく楽な姿勢で、ゆっくりお風呂を楽しんでいただけます。ご自宅での入浴が心配な方もご利用ください。



▼ トイレ

排泄時に上半身をしっかりと支えるボード。座位安定と腹圧をかけやすく、前掲姿勢をサポートします。



▼ ナースコール

この小さな装置がゲスト様の安心の拠り所となります。ゲスト様が快適に暮らせる、さらに介護の質をより充実させるために各箇所に設置しています。



ラ・ポルトフィーナ高槻

4つのサポート体制

ずっと住み慣れた地域で暮らしていただくために日々の生活の中での訓練「生活リハビリ」を4つのサービスを組み合わせてサポートいたします。

● 入所サービス

要介護1~5

病状が安定し治療を必要としないゲスト様(高齢者)に、医療、看護、リハビリテーションを行い、入浴、食事、排泄、レクリエーションなどのサービスを提供します。また、リハビリテーション施設として在宅復帰や在宅生活支援などの地域に根ざした包括的なケアを提供します。

● ミドルステイ(1~2ヶ月入所)

要介護1~5

理学療法士等の指導で、集中的にリハビリをしたい場合や引っ越し、寒い冬場や暑い夏場だけの入所も可能です。



● ショートステイ (短期入所療養介護)

要支援1・2／要介護1~5

ご家族のご用などで一時的に介護ができない場合や、介護疲れでご家族様が休養が必要な場合に短期間(上限30日)入所していただくサービスです。



泊まる
(入所)



● デイケア(通所リハビリテーション)

要支援1・2／要介護1~5

ご自宅に送迎車で送り迎えし、リハビリ(機能訓練)や生活上のアドバイス。入浴や食事、レクリエーションなどを日帰りで受けていただくサービスです。お花見やお雛祭り、夏祭りなど季節ごとのイベントや、カラオケやドッグセラピーなど楽しいイベント盛りだくさんです。



送迎車

温水プール



夏祭り



ドッグセラピー

● 訪問リハビリ (訪問リハビリテーション)

要支援1・2／要介護1~5

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がご自宅へ訪問し、ずっと自立した生活ができるよう、日常生活動作の維持・回復を目指したリハビリを行います。また、住宅改修などの在宅生活上のアドバイスもしています。



日常生活動作の維持・回復を目指したリハビリを行います。また、住宅改修などの在宅生活上のアドバイスもしています。

訪問



神明会グループは
「介護のプロ集団」



ラ・ポルトフィーナ高槻

ケア
プラン



● ケアプランセンター (居宅介護支援事業所)

- ・よろず介護相談
- ・介護保険申請代行
- ・介護認定調査

在宅復帰の際でも、施設とのつながりが途切れてしまわないように居宅介護支援事業所を併設しました。

医療法人神明会グループによる医療+介護のサポート体制

在宅復帰へ4つの安心サポート

医療・介護・リハビリができる「ラ・ポルトフィーナ高槻」は「医療と介護」「在宅と入所（入院）」の架け橋です。

01 医療・看護

日常的な健康管理を行い、お薬も調整いたします。多職種との連携を図り、積極的なチームケアを行います。24時間医療職のサポート体制を整えております。

- 医師常駐(日中)
- 看護24時間
- 訪問歯科
- 胃ろう・インシュリン
- ターミナルケア
- 寝たきり



02 食事・栄養

食べる楽しみ、いつまでも！管理栄養士が栄養バランスを考慮し、季節感・美味しさ・楽しさを感じて頂けるお食事をご提供いたします。さらにご満足頂けるよう、選択メニュー(昼のみ・毎日)をご用意しております。

- 管理栄養士
- 毎日選択食(昼のみ)
- 嚥下食対応
- 適温提供(温冷配膳車)
- 行事食・イベント食
- 経管栄養
- VE検査



工夫を惜しまず、感動と笑顔を目指します。

工夫の先の納得ある生活を目指します。

困難にも積極的に立ち向かうチームワークを目指します。

チームワークで誇りある職場づくりを目指します。

03 リハビリテーション

在宅復帰へのサポートを積極的に行い「在宅強化型」老健を目指します。また、ICFに根ざした「活動」や「参加」にも積極的にアプローチを行い、他職種が協力し生活の中にリハビリを取り入れます。温水プールでは運動機能の維持・向上をサポート致します。

- 個別リハビリ
- 嚥下・摂食障害
- 生活リハ
- アクアリハビリ
- リハビリステイ



食べるしあわせいつまでも (摂食嚥下リハビリ)



口から食事を摂ることは「栄養摂取」だけではなく、「人に生きる力と希望を与える」と、嚥下内視鏡検査(VE検査)を行っています。直径2mm程度のファイバースコープで咽頭に挿入し、種々の食品を飲み込んでいくのを観察する検査です。口腔、咽頭、喉頭、食道入口の状況を録画した画像を医師、歯科医師を中心としたチームで摂食嚥下機能を評価します。食べる楽しみを感じていただけるように摂食嚥下リハビリに取り組んでいます。(保険適用)

04 介護

感動と笑顔が溢れる毎日を送っていただくために工夫の先の納得ある生活を目指します。その人らしく生活できる環境を目指しています。

- 認知症ケア
- 生きがい作り
- 個別ケア
- カルチャー(余暇活動)
- 個別入浴
- 季節行事

「所定疾患施設療養費」の公表について

令和3年4月1日 介護老人保健施設において、入所者の医療ニーズに適切に対応する観点から、所定の疾患を発症した場合における施設での医療行為について、以下の要件を満たした場合に評価されることになりました。

厚生労働大臣が定める基準に基づき、所定疾患施設療養費の算定状況を公表いたします。

当施設では、ホームページにて、『所定疾患施設療養費に関する治療の実施状況』をご報告、公表してまいります。

【所定疾患施設療養費Ⅰの算定条件】

1. 所定疾患施設療養費は、肺炎等により治療を必要とする状態となった入所者に対し、治療管理として投薬・検査・注射・処置等が行われた場合に、1回に連続する7日を限度とし算定する。肺炎の者又は尿路感染症の者については検査を実施した場合に限る。（令和3年4月改定より）
2. 所定疾患施設療養費と緊急時施設療養費は同時に算定することはできない。
3. 所定疾患施設療養費の対象となる入所者の状態は次の通りである。

イ 肺炎

ロ 尿路感染症

ハ 帯状疱疹（抗ウイルス剤の点滴注射を必要とする場合に限る）

ニ 蜂窩織炎（令和3年4月改定より）

4. 算定する場合にあっては、診断名、診断を行った日、実施した投薬・検査・注射・処置の内容等を診療録に記載しておくこと。
5. 請求に際して、診断、行った検査・治療内容等を記載すること。
6. 当該加算の算定開始後は、治療の実施状況について公表することとする。

公表に当たっては、介護サービス情報の公表制度を活用する等により、前年度の当該加算の算定状況を報告すること。

■所定疾患施設療養費に関する治療の実施状況（R3年4月1日～R4年3月31日）

疾患名	人数	検査内容	治療内容	投与内容
肺炎	3	診察・血液検査 X-P	内服薬	オロパタジン・クラリス（200） モンラルカスト・レバミピド アンブロキソール
尿路感染	18	診察・血液検査	内服薬	レボフロキサシン500mg クラビット500
帯状疱疹	14	診察・血液検査	内服薬	アシクロビル エピナスチン
蜂窩織炎	1	診察・血液検査	内服薬	セフカペンヒボキシル